

2022年7月　発行
世田谷区議会議員 和田ひでとし　〒158-0083 東京都世田谷区奥沢1-40-2
TEL 03-3720-3542　FAX 03-3720-6928　EMAIL info@wadahidetoshi.com

区政レポート

世田谷区議会議員
和田ひでとし通信 奥沢・九品仏地区特別号



地域の皆さんと和田ひでとしが協力し実現に向けてゼロから話し合いを進めてきた目黒線奥沢駅の歩行者連絡横断デッキがついに完成しました！


混雑する、以前の奥沢駅前踏切

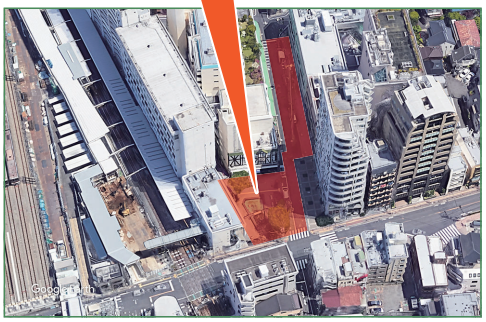
目黒線奥沢駅前の“開かずの踏切問題”。地元の区議会議員として少しでも改善するべく、2013年より和田ひでとしと地域の皆さん、世田谷区、東急電鉄の間で「歩行者連絡横断デッキ」の実現に向けて話し合いを続けてまいりました。約10回にわたる協議を重ねた結果、東急電鉄によって2018年に着工、約4年の歳月を経て2022年2月の完成となりました。地域の声を集約して課題解決へつなげることの大切さを改めて実感します。これからも様々な課題をしっかり受け止め、地域の皆さんと一緒により住みやすいまちづくりを目指してまいります。

そして、奥沢駅前道路の整備も動き出します！

駅周辺のもうひとつの課題、その解決に向けた大きな前進となる奥沢駅前噴水広場の前面道路用地の取得が、ようやく叶いました。

これまでいびつな形だった奥沢駅南側の道路（一方通行）が、電線地中化とともに整備に向けて動き出します。

世田谷区は、この道路整備と合わせて老朽化のため故障が頻発している噴水についても、維持経費の問題なども含め、駅前噴水ひろばの今後の在り方を地域の皆さんの意見を聴きながら考えていく、とのことです。



“開かずの踏切問題”の抜本的解決や土地の有効活用など、世田谷区内の鉄道立体化について取り組んでいます。



世田谷区内では現在、小田急線の連続立体化に続いて京王線の連続立体化の工事が進んでいます。大井町線と東横線が接続する自由が丘駅周辺も、目黒区と地元が主体となって計画を進めてきた再開発事業がまもなく着工となり、自由が丘駅周辺の街並みが大きく変わろうとしています。

東横線は現在でも自由が丘駅付近は立体交差化されていますが、将来の大井町線を含めた両線の連続立体化についても視野に入れた構想として、世田谷区は、東京都や目黒区とともに着実に進められるよう積極的に働きかけていかなければなりません。

令和４年第２回世田谷区議会定例会の一般質問でこの問題について取り上げ、次のように質問を行いました。



自由が丘駅周辺の再開発事業による、まちづくり活動と連携して現在目黒区が予算を付けて進めている踏切解消（連続立体化）に向けた調査･検討に、世田谷区も積極的に関わっていくべきと考えますが、世田谷区の見解を伺います。

この質問に対して世田谷区の道路交通計画部長より次のような答弁をいただきました。



道路交通計画部長

昨年度より目黒区は、自由が丘駅付近における都市基盤整備の方向性や道路と鉄道の立体化の調査･検討に取り組んでおります。この調査･検討においては世田谷区内の大井町線と東横線も含めた立体化の検討が必要となることから、世田谷区も鉄道事業者等とともに目黒区が実施している調査･検討に参加してまいりました。世田谷区といたしましては、今後、更に目黒区と連携を図り、検討状況を共有し、大井町線･東横線における道路と鉄道の立体化に向け、取り組んで参ります。

大田区では新空港線（蒲・蒲線）が整備事業に向けて動き出すニュースがあり、また品川区では大井町線戸越公園駅付近で立体化の動きがあります。



そして目黒区では自由ヶ丘駅周辺の再開発事業がまもなく始まり、大井町線・東横線の連続立体化へ向けての調査が進むなど、隣接区に活発な動きがみられます。

世田谷区も隣接区に乗り遅れることなく、積極的な姿勢で臨むよう要望してまいります。



上下線とも踏切を渡らないと改札へ入れない品仏駅
狭い駅舎の目の前を急行電車が通過していきます